

NEWSLETTER

ファミリーファーストジャパン 2021-2022



ご挨拶

Merry Christmas & Happy New Year!

年末年始を皆様どのように過ごされていますでしょうか？ 家族や親戚とゆっくり時間を過ごす方も多いかと思いますが、同時に互いに愛し合うことの難しさを改めて実感する時かもしれません。ファミリー・ファースト・ジャパンでは、より多くの家族が幸せになれるようにと願い、同じ思いを持っておられる方々と協力しながら活動をしています。まだまだ小さな活動ですが、これからより多くの家族に届いていけるようにと準備を進めております。

このニュースレターをお読み下さっている皆様のご家族が、より絆を深める一年を歩めますようにとお祈りしております。また、私どもの活動を知っていただき、是非ご協力、ご支援いただけましたら幸いです。多くの家族が聖書に記されているような深い愛によって互いに支え合い、信頼し合っているように2023年も邁進して参りますので、宜しく願いいたします。

Family First Japan 理事長 伊藤真人

2021年度・活動報告

セミナー

- 子育てセミナー
- ファミリーセミナー
- 夫婦セミナー
- 父の日セミナー
- プリペアアエンリッチ・ファシリテーター養成講座

フェロシップ

- 父親ネットワーク（父親改革読書会）

カウンセリング

- プリペアアエンリッチ

情報発信(ウェビナー)

- FAMILY HEALTH 360
- LEADERSHIP SUMMIT 360

その他

- 父親改革出版記念会
- 月例会等のZOOM開催

お父さんの背申 かおを見て育つ

BE A BETTER DADI



日本では良く、父親の背中を見て育った、と言います。これは良い意味で父親が言葉以上に行動で模範を示して、その模範的姿を見て育った、ということでしょう。しかし、実際にはただ単に父親との会話が少なく、その行動を観察する以外に父親との接点がなかった、という育てられ方をした人が多くいます。

しかし、日々の子どもの心の動き；学校で嫌がらせにあった、先生に厳しく言われて嫌だった、好きな子ができた。こうした小さな毎日の出来事を知らずに、最後の最後に突然出てきて、羨ましいことを言われても子どもの心には響きません。言葉の圧力で行動を変えても、重みに欠けていたら心は変わりません。

「自分と家族のために高いモラルコンパス（道徳的規準）を定めること、そして、その基準を世代を超えて子どもたちに伝えていくことは、あなたが子どもに遺すことのできる最も大切な遺産です。」

「働き方改革より父親改革」グレゴリー・スレイトン著、糟谷恵司他訳、いのちのことは社フォレストブックス

今後の展望

2022年夏に法人化をしてから一年が経ちました。初年度は手探りで様々なことに挑戦致しましたが、その中で学んだことを活かし、二年目は特に二つの活動に注力しております。一つは父親ネットワークです。様々な地域で父親同士がパパ友としての交流を持てるようにと、「働き方改革より父親改革」の本を使って、読書会のような形で定期的な集まりを持っています。このネットワークが日本全国へと広がって行くように取り組んでいきます。

二つ目は、プリペアー・エンリッチという関係診断プログラムを使い、結婚前のカップルが結婚に備え、結婚後の夫婦が関係をより強めていくための活動です。特に結婚前にこのように備えることが一般的になることによって、離婚やDVなどを未然に防ぐ助けになると考えています。そのための啓発活動とこのプログラムのファシリテーター育成に力を入れていきます。この二つの活動に興味のある方は、是非ご連絡下さい。

参加者の声

小金井父親ネットワークは今年の4月に始まって、無理のない範囲で継続できるように、現在、2か月に一度の開催をしています。中心メンバーが所属する教会を順繰りに会場にして、毎回6~7人の父親が集まっています。本をベースに、毎回1章ずつ輪読しながら、お互いの悩みや考えを分かち合い、頷き、笑いあうとても良い会となっています。

応援・サポート

Family First Japan は皆さまからのご支援、ご寄付によって支えられています。SNSのフォローを始め、引き続きの応援・サポートをよろしくお願いいたします。

<https://familyfirstjapan.org/supporter>



事務局長より

保田勝巳



ビジネスで世界的な働きをしているグレゴリー氏と、ネバダ州で出会い、家族を一番大切に、ファミリー・ファーストの素晴らしい働きをしている事に、インパクト受けました。日本のビジネスマンは、家族よりビジネスを一番に生きており、そんな中家族の問題を多く抱えています。日本でもFFの活動が始まり、共感し皆さんと共に活動に加わらせていただき、事務局長をさせていただく事になりました。

一男一女の父であり3人の孫を持ち、家族はとても大切であると思います。私の周りも、家族の課題を持つ友人・仲間も多くいます。大きな課題を抱えて誰も手を差し伸べてくれず一人悩む、親・子供が沢山おり、職場でも相談を受ける事はよくあります。

また、長く行政に従事し、そこでも家族の課題を強く感じました。NPOが社会の挟間にある問題を、取り組む役割は大きいと思います。皆様と共に、家族の課題に取り組んでいきたいと思っています。



プリペアーエンリッチ・ファシリテーター養成講座より (2022年11月)